




### 家庭用電源遮断器について

大震災時に発生する火災の約6割は、**通電火災**がその原因であると言われています。これは、万が一**大震災**が起きた場合、建物に大きな損害が発生したり、家電のコンセントを差したまま居住者が避難しているような状況で、その後送電が再開したときに**ショート**や**過熱**によって出火してしまうというものです。

そこで、それを防止するため、各戸ごとに自動的に**通電しない**ようにする「家庭用電源遮断器」をご紹介します。

そのしくみは、地震の揺れを感知すると**電気ブレーカー**が落ちる（停止）というもので、中には数万円するものから数千円と安価で自分で取り付けができる簡易型などがあります。

次に、それぞれの特徴を調べてみました。

<p>①「<b>感震ブレーカー</b>」 パナソニック 約 18,000 円 (別途工事費)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気工事が必要</li> <li>・分電盤によって費用が変わる</li> <li>・電気を遮断する際、5分間ほど音声アラームしてから遮断</li> </ul>	
<p>②「<b>断ボールⅢ</b>」 エヌ・アイ・ピー 約 3,000 円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤に両面テープで貼り付ける簡易型タイプ</li> <li>・ボール型のおもりが落ちてブレーカーのスイッチを下げる方式</li> </ul>	
<p>③「<b>まもれーる</b>」 寺田電機製作所 約 4,500 円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤に両面テープで貼り付ける簡易型タイプ</li> <li>・内部センサーが働くと、バントが降下してブレーカーのスイッチを下げる</li> </ul>	

上記の②と③は、特に有名メーカーの商品ではありませんので信頼性が高いとは言えませんが、価格的にはとてもお手頃です。今、目黒区で「あっせん販売」の対象にするかどうか検討されているようです。杉並区では、住宅密集地域において③に対して、既に補助金を出すことが決まったようです。

こういった簡易型のデメリットとしては、地震発生時に**辺り一帯が停電**になるより前に、先に装置によって電源が遮断されてしまったりする可能性があり、もし夜間であれば室内が真っ暗になって避難しずらくなるということもあります。

ということで、導入に際しては各自で良くご検討頂きますようお願い致します。

先に装置によって電源が遮断されてしまったりする可能性があります、もし夜間であれば室内が真っ暗になって避難しづらくなるということもあります。

ということで、導入に際しては各自で良くご検討頂きますようお願い致します。

町会としては、まずは通電火災のご案内と家庭用電源遮断器のご紹介をさせていただくことで、少しでも地域における二次災害の防止につながればと思っております。

(防災部 小杉 学)

今年の日帰りバス旅行は、**9月22日**（木・秋分の日）に、**榛東（しんとう）ぶどう郷**でのぶどう狩りに決まりました。他に訪れる先は、**ガトフェスタハラダのラスク工場・水沢観音・こけし工房**等です。皆様奮ってご参加ください。詳細は7月5日号でお知らせいたします。

